

領域	基礎助産学	授業科目	助産学概論		
単位 (授業時間/時間数)	1 (12 / 15)	授業回数	6 回	開講時期	前期
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
特記事項	実務経験のある教員による科目		臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう		

科目目標

助産の概念や母子保健の動向を学び、助産師の職務について理解する。

授業目標

1. 助産の起源や変遷を通して助産の概念を理解する。
2. 助産に関する法律を理解し、助産業務と責務について理解する。
3. 母子保健の動向や諸制度を理解する。
4. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題について理解する。

授業内容

1. 助産の概念
 - 1) 助産の概念
 - 2) 助産に関係する概念
2. 助産師と倫理
3. 母子保健の動向
 - 1) 母子保健の歴史
 - 2) 母子保健の動向と諸制度
4. 助産の歴史と文化
 - 1) 古代から江戸時代までの助産の変遷
 - 2) 明治～昭和時代の助産の変遷
5. 助産師と教育
 - 1) わが国における助産師教育
6. 助産技術とは
7. 助産活動を支える理論・技術の基本
8. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題と援助

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)
助産学講座 5 助産診断・技術学 I (医学書院) 助産学講座 10 助産管理 (医学書院)
新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)
わが国の母子保健 (母子衛生研究会)

参考図書

国民衛生の動向 (厚生統計協会) 母子保健の主なる統計 (母子保健事業団)

評価方法

終講時 客観式テスト (90 点)

領域	基礎助産学	授業科目	助産学概論		
単位 (授業時間/時間数)	1 (2 / 15)	授業回数	1 回	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属			
特記事項	—		—		

科目目標

助産の概念や母子保健の動向を学び、助産師の職務について理解する。

授業目標

1. 助産学を支える哲学と理論について理解する。
2. プライマル・ヘルスとホリスティック医学の知識を得る。

授業内容

1. 助産学を支える哲学
 - 1) ソクラテスの産婆術・タオイズム
2. 助産学を支える理論と研究
 - 1) 助産学を構成する理論
 - (1) 助産実践を支える理論とはなにか
 - (2) 助産学における対象を理解するための理論
 - (3) 助産学に関連する学問領域と探究方法

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)

参考図書

プライマル・ヘルス (メディカ出版)
 レポート・論文の書き方 (金芳堂)
 ケアの本質 (ゆみる出版)
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講時 レポート (10 点)